

事業名：交通対策管理経費

企画課 企画係

政策	01 自然・環境			戦略					
取組の基本方針	01 人と自然の共生			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

野幌森林公園内基線道路の一般車両通行者（江別市民）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	江別市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

野幌森林公園内基線道路の入り口等に一般車両の通行抑制を促す看板を設置し、その効果を検証するために交通量を測定する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	通行抑制看板設置数	枚	4	4	4	4
活動指標 2	交通量調査	回	1	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

自然環境の保全を図るため、一般車両の通行を抑制する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	交通量（自動車）	台	20	17	11	11
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	27	31	72	63
正職員人件費 (B)		千円	1,144	1,141	1,165	1,152
総事業費 (A+B)		千円	1,171	1,172	1,237	1,215

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	・交通量調査（年1回）	・交通量調査経費	63千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：都市景観創出事業

都市計画課 計画係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	昭和62年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・企画展の開催（休止中）と景観パンフレットの発行により、景観に関する啓発・情報発信を行う。
- ・3年毎に都市景観賞を開催し、市民や企業などによる優れた景観創出・活動に対する表彰を行う。
- ・市内の景観資源の周知を目的として、3年毎に都市景観フォトコンテストを開催する。
- ・都市景観施設（バス待合所など）の修繕等に対する補助を行う。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 景観イベントの開催日数	日	0	239	175	0
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・都市景観に対する意識の高揚と、江別らしい景観づくりへの理解と関心を高める。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 都市景観賞受賞件数	件	60	60	63	63
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	101	507	1,121
正職員人件費 (B)	千円	0	1,521	1,554	1,537
総事業費 (A+B)	千円	0	1,622	2,061	2,658

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	都市景観施設の修繕に対する補助	バス待合所2箇所の修繕に対する補助経費 1,121千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：定住促進事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	奨励的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び移住検討者

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 日本総人口	千人	125,880	125,502	125,120	124,830
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

定住に関する相談窓口の対応を行う。
 地域イベントへの参加や自治会などのコミュニティとの交流を行う。
 地域の魅力について情報収集、発信を行う。
 移住を促すため、首都圏及び札幌市でPR活動を行う。また、北海道を中心とした道内市町村との広域連携事業である移住支援事業を実施する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 定住等PR活動回数	回	7	7	7	7
活動指標 2 まちづくり活動等の事業数	回	3	3	3	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内での居住維持や子育て世代の移住が促進される。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 定住に関する相談対応件数	件	48	48	70	70
成果指標 2 ホームページアクセス数（年間）	件	20,306	34,954	33,136	33,136

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	2,674	3,310	6,563	6,653
正職員人件費 (B)	千円	7,629	7,607	7,768	7,683
総事業費 (A+B)	千円	10,303	10,917	14,331	14,336

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度 地域おこし協力隊による地域PR 移住支援事業（広域連携） さっぽろ連携中枢都市圏移住フェア	地域おこし協力隊報酬 2,640千円 移住支援金 2,600千円 移住フェア旅費 130千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生活バス路線等運行補助事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活バス路線等事業者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	バス路線数（系統数）	系統	29	29	29	29
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・「江別市生活バス路線運行費補助金交付要綱」に基づき、国や道の補助対象とならない市内完結バス路線を対象として、運行費の収支差に対する補助金を予算の範囲内で交付する。
 〈見込額〉 ・江別2番通線：25,000千円 ・野幌見晴台線：17,000千円

・国補助金の対象になっているが、利用者の減少により国補助の一部がカットされてしまった夕張鉄道(株)のバス路線に対し、沿線自治体と協調して補助を行う。
 〈見込額〉 ・札幌線【夕張】：1,521千円 ・札幌線【栗山】：1,771千円

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	38,448	33,452	45,325	45,292
活動指標 2	補助対象バス路線数	路線	2	2	4	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・生活バス路線等の運行が維持される。
- ・交通弱者の移動の利便性が確保される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	バス路線の廃止数（系統数）	系統	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	38,448	33,452	45,325	45,292
正職員人件費 (B)		千円	2,289	2,282	2,330	2,305
総事業費 (A+B)		千円	40,737	35,734	47,655	47,597

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
5年度	バス路線運行費に対し補助金を支出	バス路線運行費への補助金 45,292千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：豊幌駅舎共同管理経費（補助金）

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	昭和59年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

豊幌地区の住民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	豊幌地区の人口	人	2,626	2,607	2,607	2,624
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

「豊幌駅業務運営費補助要綱」に基づき、豊幌駅の管理運営を行う自治会に対し、当該管理運営経費の一部を予算の範囲内で補助する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	補助金額	千円	550	550	550	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

豊幌駅に管理人が配置されることにより、駅利用者の利便性、安全性が確保される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	豊幌駅の利用に関する苦情件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	550	550	550	550
正職員人件費 (B)		千円	763	761	777	768
総事業費 (A+B)		千円	1,313	1,311	1,327	1,318

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
5年度	駅業務運営に対し補助金を支出	駅業務運営への補助金 550千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：公共交通利用促進対策事業

政策推進課参事（公共交通）

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域公共交通計画に基づき、路線バスの利用促進、江北地区及び豊幌地区デマンド型交通運行事業の支援等を行う。
- ・江別市地域公共交通活性化協議会（市、公共交通事業者、公共交通利用者、学識経験者等で構成）において、地域公共交通計画の推進状況の確認等を行うほか、市内のバス路線についても引き続き検討等を行う。
- ・市民に対して、市ホームページ・広報誌等による情報発信を行う。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 利便性向上や利用促進等のために行った事業数	件	4	4	4	4
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

交通機能を維持・確保することに加え、情報提供の強化等を図ることにより利用が促進される。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 バス輸送人員	千人	385	356	562	562
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	2,153	3,097	15,353	6,040
正職員人件費 (B)	千円	10,681	9,889	11,652	11,525
総事業費 (A+B)	千円	12,834	12,986	27,005	17,565

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度 <ul style="list-style-type: none"> ・計画推進等業務 ・地域公共交通活性化協議会等開催 ・バス路線マップ等作成 ・市ホームページや広報誌による周知・利用啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・江北地区デマンド型交通補助金 1,200千円 ・豊幌地区デマンド型交通補助金 3,200千円 ・地域公共交通活性化協議会等開催 675千円 ・バス路線マップ等作成 965千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：市内大学教育助成事業

企画課 企画係

政策	06 子育て・教育			戦略					
取組の基本方針	02 子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	令和 5年度	終了年度	—	区分1	新規	区分2	単独	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学・北翔大学・札幌学院大学・北海道情報大学）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市内大学	校	0	0	0	4
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学から、その良好な教育環境の整備を図るための事業について、申請を受け補助金を交付する。

【根拠要綱】江別市ふるさとえべつ教育応援補助金交付要綱

【補助率および上限額】補助対象経費の全部または一部に対し、前年1月から12月の間に、各校のために納められたふるさと納税寄附金額の30%程度を上限として交付する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	補助事案件数	件	0	0	0	4
活動指標 2	補助金額	千円	0	0	0	1,700

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学が、ふるさと納税寄附者に広く認知されることにより、寄附による大学支援が拡大する。

市内4大学が補助事業を推進することにより、在学生の修学環境の充実が実現する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	補助申請事案件数	件	0	0	0	4
成果指標 2	補助申請金額	千円	0	0	0	1,700

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	0	1,700
正職員人件費 (B)		千円	0	0	0	2,305
総事業費 (A+B)		千円	0	0	0	4,005

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	・大学事業への補助金交付	補助金	1,700千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
新規	ふるさと納税制度を活用し、その返礼品となる江別市の特産品・名産物を楽しむとともに、寄附金により市内大学を学校単位で応援し、その教育環境の充実を図ることができる補助金制度を創設したもの。

事業名：大学連携調査研究助成事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成21年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）の教員及び教員を中心とした団体。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標1	市内4大学所属教員数（短大含む）	人	469	473	473	477
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。なお、対象は第6次江別市総合計画の「えべつ未来戦略」に関わる事業等とする。
 【根拠要綱】江別市大学連携調査研究事業補助金交付要綱
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、1,000千円を上限に補助

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標1	補助事業件数	件	3	6	7	3
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

補助金の交付により、市内4大学の教員及び教員を中心とした団体が、地域の課題解決につながる具体性・実用性の高い調査研究を実施できるようにする。また、大学の優れた研究等を地域の課題解決に生かすため、教員等の関心を高める。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標1	補助事業申請件数	件	3	6	7	3
成果指標2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費(A)		千円	1,260	2,036	2,085	2,050
正職員人件費(B)		千円	3,052	3,043	3,107	2,305
総事業費(A+B)		千円	4,312	5,079	5,192	4,355

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学に所属する教員が行う江別市の課題解決や地域活性化に貢献する調査研究事業に対し、大学連携調査研究事業補助金を交付する。 【令和4年度採択事業】 江別市の子どもの健康と保護者の健康に関する調査研究 ユニバーサルデザイン等を活用した暮らしの情報の普及促進に関する研究 	・江別市大学連携調査研究助成事業補助金 1,950千円	

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学連携学生地域活動支援事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生団体

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標1	市内4大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,452	10,675	10,675	10,688
対象指標2						

手段（事務事業の内容、やり方）

市内4大学に所属する学生団体が行う地域住民とのふれあいや、まちづくりに関する自主的な取組（環境活動、地域福祉、教育及び文化、観光及び産業、その他まちづくりに関する事業）に対し、補助金を交付する。
 【根拠要綱】江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金交付要綱
 【補助率及び上限額】補助対象経費の全額又は一部について、100千円を上限に補助

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標1	補助事業件数	件	2	5	2	4
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学に在学する学生が、江別市民の一員としての意識を持つことが地域と大学による協働のまちづくりにつながることから、補助金の交付により、学生が自主的に、地域住民とのふれあいやまちづくりに関する取組を実施できるようにする。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標1	補助事業申請件数	件	3	5	2	4
成果指標2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費(A)		千円	157	377	400	400
正職員人件費(B)		千円	3,815	3,804	3,884	2,305
総事業費(A+B)		千円	3,972	4,181	4,284	2,705

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> 市内4大学に所属する学生団体が行う地域活動等に対し、補助金を交付する。 【令和4年度採択事業】 ・とうふかす堆肥の製造 ・安心安全のまちづくりのためのこども110番の家マップ化計画 	<ul style="list-style-type: none"> 江別市大学連携地域活動支援事業補助金 	400千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 学生地域定着自治体連携事業

企画課 企画係

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内4大学（酪農学園大学、北翔大学（短期大学部を含む）、札幌学院大学、北海道情報大学）に所属する学生

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標1	市内大学に在学する学生数（短期大学部含む）	人	10,452	10,675	10,675	10,688
対象指標2	協議会加入自治体数	団体	8	8	8	8

手段（事務事業の内容、やり方）

連携自治体（江別市、芦別市、赤平市、三笠市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町）へ市内4大学の学生を就業・定住させることを目的に組織された学生地域定着推進広域連携協議会を運営し、市内で実施する地域活動プログラム（インターンシップ、ワークショップ、地域イベント参画など）に学生が参加するための支援を行う。支援の手段は、学生と地域活動プログラムのマッチングほか、交通費の支給など。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標1	地域活動等実施プログラム数	件	4	29	70	70
活動指標2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市内4大学の学生が地域の魅力を知り、将来的な市内での就業・定住につなげるために、地域活動プログラムに参加する学生の増加を図る。また、協議会の運営を通じて、当市以外の連携自治体への就業・定住についても実現を図る。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標1	市内の地域活動等に参加した延べ学生数	人	42	144	400	400
成果指標2	参加者のうち市内へ就業した者の人数	人	3	2	3	3

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費(A)		千円	2,933	3,176	3,968	3,971
正職員人件費(B)		千円	7,629	7,607	10,098	9,988
総事業費(A+B)		千円	10,562	10,783	14,066	13,959

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会の運営 学生地域活動プログラム参加支援 	<ul style="list-style-type: none"> 学生地域定着推進広域連携協議会負担金 消耗品等 	3,928千円 20千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：大学生等地域関係促進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	08 協働			戦略					
取組の基本方針	01 協働のまちづくりの推進			具体的施策					
開始年度	令和 2年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内大学生

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市内大学生	人	10,452	10,675	10,675	10,688
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内4大学内に江別PRブースを設置して、江別市に関する情報を発信する。
- ・地域交流会等を開催し、若手経営者や就業者等と大学生との繋がりを創出する。
- ・えべつファンスマホアプリを活用した情報発信を行い、アプリ登録者を獲得する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 地域交流会等実施回数	回	1	28	75	10
活動指標 2 江別PRブース情報発信点数	点	162	249	139	100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市の認知度の向上や愛着心が育成される。
- ・卒業後においても市との繋がりが維持され関係人口が創出される。
- ・20代前半の転出抑制や将来の定住促進が図られる。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 地域交流会等参加者数	人	11	117	180	100
成果指標 2 えべつファン登録者数（累計）	人	10	386	761	1,200

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	9,884	9,671	5,351
正職員人件費 (B)	千円	0	3,804	3,884	3,842
総事業費 (A+B)	千円	0	13,688	13,555	9,193

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・EBETSUto（えべつと）推進事務局の運営 ・地域交流会の企画・運営 ・市内4大学内構内への江別PRブースの設置 ・市内大学卒業生へのPR ・スマホアプリの運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流会の企画・開催に係る経費 1,254千円 ・江別PRブースの設置に係る経費 1,166千円 ・市内大学卒業生へのPRに係る経費 1,474千円 ・スマホアプリの運営に係る経費 1,386千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	事業開始から3年が経過し、一定程度の基盤を整備することができたことから事業内容を見直した。

事業名：行政改革推進事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市職員

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市職員数	人	1,146	1,141	1,146	1,141
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・行政改革大綱に基づく行政改革推進計画を実施する。
- ・行政改革推進委員会を開催し、行政改革推進に関する助言、及び次期行政改革大綱の改定に向け意見を求める。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 行政改革推進委員会開催回数	回	3	3	3	5
活動指標 2 行革関連事業等開催回数	回	11	31	34	20

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市職員が高い意識を持って、行政改革に取り組んでいる。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 行政改革取組項目数	件	23	23	23	23
成果指標 2 行革関連事業参加者数	人	109	278	211	249

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	117	119	255	449
正職員人件費 (B)	千円	3,815	3,804	3,884	3,073
総事業費 (A+B)	千円	3,932	3,923	4,139	3,522

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員会の開催 ・行政改革大綱及び行政改革推進計画の改定に向けた協議 	<ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員会開催経費 389千円 ・行政改革推進本部及び庁内プロジェクトチーム会議開催経費 60千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政評価・外部評価推進事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市職員
・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市職員	人	1,146	1,141	1,146	1,141
対象指標 2	市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333

手段（事務事業の内容、やり方）

・事務事業評価表の作成など、事務事業を基礎とする行政評価を行う。
・行政評価にかかる指標把握等のため、市民アンケート調査を実施する。
・行政評価を行う職員の技能向上を目的として、庁内説明会等を開催する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	行政評価説明会等開催回数	回	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・行政評価の手法を用いて、PDCAサイクルによる総合計画の推進が図られる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	まちづくり政策にかかる成果指標の目標達成割合	%	86	77.6	100	100
成果指標 2	計画的に成果が上がっている事務事業の割合	%	61.4	65.6	100	100

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	1,971	1,902	1,949	2,058
正職員人件費 (B)		千円	7,629	2,282	2,330	2,305
総事業費 (A+B)		千円	9,600	4,184	4,279	4,363

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり市民アンケート調査の実施 事務事業評価表に係るシステム改修 	<ul style="list-style-type: none"> まちづくり市民アンケート調査実施経費 2,005千円 事務事業評価表に係るシステム改修経費 53千円 	

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：行政デジタル化推進事業

デジタル政策室（行政デジタル化）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	01 自主・自立の市政運営の推進			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市職員
- ・市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市職員	人	0	0	1,146	1,141
対象指標 2	市民	人	0	0	119,777	119,333

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・行政手続のオンライン化の推進
- ・デジタル技術やデータ、AI等の活用

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	業務システム数	システム	0	0	2	3
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

デジタル技術の活用により、住民の利便性向上や職員の業務効率化を図り、行政サービスの向上に繋げる。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	システムを使用する課等の数	課	0	0	37	38
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	9,254	11,703
正職員人件費 (B)		千円	0	0	15,536	7,683
総事業費 (A+B)		千円	0	0	24,790	19,386

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続やアンケート等のオンライン化に関する業務（申請管理システム・LoGoフォーム） ・会議録作成音声認識支援システム運用 ・基幹系システム標準化・共通化に関する新総合行政システム移行準備対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・申請管理システム利用料：1,069千円 ・LoGoフォーム利用料：1,631千円 ・会議録作成音声認識支援システム利用料：1,056千円 ・基幹系システム標準化・共通化に関する新総合行政システム移行準備対応経費：7,947千円 	

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 広聴活動事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・ 市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

・ 現状の広聴手段である①面談、②広聴箱、③郵便、④電話、⑤FAX、⑥Eメールのほか、各担当課で実施する⑦施設見学会、⑧市民アンケート、⑨各種懇談会、⑩パブリックコメントの利用増、機会の拡充を図る。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 市民が市へ意見や要望を伝える手段の数	個	10	10	10	10
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・ 市政に対する市民の意見、要望、提言等を伝える媒体を整備することで、市民が市政に関する意見を伝えやすくなる。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 1年間に寄せられた意見や要望の件数（陳情・要望・市民の声）	件	650	1,073	367	674
成果指標 2 1年間に寄せられた意見や要望の件数（パブリックコメント）	件	114	79	44	89

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	0
正職員人件費 (B)	千円	5,340	5,325	5,438	5,378
総事業費 (A+B)	千円	5,340	5,325	5,438	5,378

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	市民からの意見・要望を所管課に伝え、市政に反映させる。	人件費事業

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： 広報えべつ発行等事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略				
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策				
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民
・世帯

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2	世帯数	世帯	58,668	59,100	59,100	59,427

手段（事務事業の内容、やり方）

・A4判1色刷（表・裏表紙はカラー印刷）、月平均27ページ、毎月1日付、年12回発行。
 ・編集の一部及び印刷、製本については業務委託し、発行に係る企画、取材、編集、版下作成を直接職員が行う。
 ・配布については、自治会に郵送し各戸配布を依頼している他、ホームページへの掲載、自治会未加入者等のために市内の大学、公共施設、JR駅、郵便局、大学・企業の寮、コンビニ、スーパー、病・医院、理容院等にも設置。
 ・転入者に江別での生活情報をまとめた「江別生活ガイドブック」を配布する。
 ・江別の住み良さをPRするリーフレットを作成し、情報発信する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	月平均作成部数	部	47,088	47,177	47,100	47,100
活動指標 2	広報配布箇所数	箇所	261	258	259	259

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市政の基本方針を始め、業務・事業紹介、制度改革、市民活動団体の紹介等、市民生活に係る事項について市民に周知される。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	配布率	%	79	78.4	77.8	79.1
成果指標 2	広報えべつを読んでいる市民の割合	%	76.9	79.9	79.9	79.5

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	13,747	13,879	13,982	15,974
正職員人件費 (B)		千円	11,444	11,411	11,652	12,293
総事業費 (A+B)		千円	25,191	25,290	25,634	28,267

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
5年度	広報えべつの発行、転入者への生活情報をまとめた冊子「江別生活ガイドブック」の発行、江別の住み良さをPRするリーフレットの作成	広報えべつ作成経費 15,467千円 江別生活ガイドブック 307千円 江別の住み良さをPRするリーフレットの作成経費 200千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名： ウェルカム江別事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・江別市外在住でこれから移住・定住を考える世帯

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	江別市内外の移住・定住を考える世帯（把握困難）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・江別市の魅力をPRするリーフレット及びホームページ・SNSを作成・運営し、情報発信する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	パンフレット等作成部数	部	5,000	5,000	5,000	0
活動指標 2	ホームページ更新回数（年間）	回	10	1	12	12

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

定住先候補として江別市に興味を持っている市外在住者に対して、良好な住環境などを知ってもらったり、良いイメージを持ってもらうことで、移住動機を強めてもらう。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	パンフレット等配布部数（年間）	部	5,000	5,000	5,000	0
成果指標 2	ホームページのアクセス件数（年間ページビュー）	件	20,390	34,115	38,610	38,610

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	277	316	633	0
正職員人件費 (B)		千円	1,526	1,521	1,554	768
総事業費 (A+B)		千円	1,803	1,837	2,187	768

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
5年度	・江別の住み良さをPRするホームページ・SNSの運用	人件費事業

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	リーフレット作成は、今後、政策推進課シティプロモート担当が発行する移住促進パンフレットとの統合を視野に検討を進める。

事業名：ホームページ運営事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成13年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民および江別市の情報を必要としているインターネット利用者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	インターネット利用者数（測定不能）	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・市公式ホームページにより市政情報やイベント情報などを提供する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	情報更新回数（年間）	件	5,465	6,618	5,900	5,600
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・市政情報などを迅速かつ分かりやすく提供することで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	ホームページアクセス数（年間）	回	6,591,588	9,828,275	7,283,000	7,101,000
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	240	1,812	1,813	1,813
正職員人件費 (B)		千円	7,629	7,607	7,768	8,067
総事業費 (A+B)		千円	7,869	9,419	9,581	9,880

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
5年度	市ホームページの管理・運営	コンテンツ管理システムの保守管理経費 1,748千円 モバイルWi-fi 65千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：えべつシティプロモーション事業

政策推進課参事（シティプロモート・住環境活性化）

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市外居住者

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市外居住者	千人	125,760	125,382	125,000	124,711
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

市内大学・企業・経済団体などとともに市のプロモーション（売り込みや知名度向上）のための推進組織（江別シティプロモート推進協議会）を設置し、官民一体でのプロモーションを検討し、江別の魅力を発信するなど、まちのイメージを高めるための戦略的な取組を実施する。
印刷物やホームページ、インスタグラムやフェイスブックなどのSNSを活用し、状況に合わせた効果的な情報発信を検討の上、実施する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 推進プロジェクト等の活動回数	回	12	12	12	8
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

江別シティプロモート推進協議会における官民一体的なプロモーション、まちのイメージを高めるための戦略的な取組、多様な情報発信の実践を通して、積極的に江別市の魅力をPRし、江別市に対する認知度、イメージを向上させる。
認知度やイメージの向上は、企業誘致、観光や転入促進など市外の対象に働きかける様々な活動を効果的・効率的に推進するために必要な要素である。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 江別市の認知度の道内順位	位	20	20	18	18
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	3,826	4,150	5,275	4,804
正職員人件費 (B)	千円	15,258	7,607	7,768	7,683
総事業費 (A+B)	千円	19,084	11,757	13,043	12,487

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	地域おこし協力隊による地域PR 子育て世代向け地域PR	地域おこし協力隊報酬 子育て世代向けイベント開催経費	2,640千円 1,065千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：情報発信強化事業

広報広聴課 広報広聴係

政策	09 計画推進			戦略					
取組の基本方針	02 透明性と情報発信力の高い市政の推進			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民及び江別市の情報を必要としている者

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市民及び江別市の情報を必要としている者	人	0	0	0	0
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

新しい時代に向けた情報発信の強化

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	情報発信回数（年間）	件	0	0	6,582	16,287
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

多様化する利用者ニーズに対応した情報発信を行うことで、市と市民が行政情報を共有する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	フォロワー等数	人	0	0	19,146	29,273
成果指標 2	Twitter・Facebook・Instagramの行動数	人	0	0	1,497,484	2,398,312

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	2,788	1,286
正職員人件費 (B)		千円	0	0	1,554	1,152
総事業費 (A+B)		千円	0	0	4,342	2,438

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	LINE、Facebook、Twitter、instagramの市公式アカウントの管理・運営	LINE公式アカウント 運用費用 990千円 友だち登録促進費用 296千円	

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生涯活躍のまち整備事業

政策推進課 主査（政策推進）

政策	99 政策の総合推進			戦略	3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策	(1) 健康増進活動の推進				
開始年度	平成31年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1	市民	人	119,883	119,777	119,777	119,333
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・地域課題・ニーズの収集や、イベント等の実施といった役割を担うコーディネーターを配置する。
- ・生涯活躍のまちを広く周知するためのPRを実施する。
- ・拠点地域を中心とした地域交流事業を実施する。
- ・障がい者の就労環境の充実のため、民間企業との連携会議や福祉事業所合同説明会等を開催する。
- ・あじさいパークゴルフ場整備事業に対する補助（江別市ふるさとふれあい推進事業補助規則）

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1	生涯活躍のまち関連イベント開催回数	回	10	44	79	79
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる。
- ・中高年齢者、若年層、障がい者など多様な主体の交流による「共生のまち」を実現する。

指標名		単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1	拠点地域内施設の利用者等の数	人	0	572	1,442	738
成果指標 2						

事業費の推移		単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)		千円	11,629	8,845	9,026	8,551
正職員人件費 (B)		千円	11,444	19,018	11,652	7,683
総事業費 (A+B)		千円	23,073	27,863	20,678	16,234

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・地域交流イベント等の実施 ・障がい者就労環境充実のための取組 ・あじさいパークゴルフ場整備事業に対する補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置に係る経費 ・地域交流イベント等の実施に係る経費 ・障がい者就労環境充実に係る経費 ・あじさいパークゴルフ場整備事業に対する補助金 	<p>4,919千円</p> <p>2,000千円</p> <p>400千円</p> <p>623千円</p>

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：次期総合計画策定事業

政策推進課参事（総合計画・総合戦略）

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策					
開始年度	令和 3年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	0	119,777	119,777	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・行政審議会等の開催
- ・初期値取得アンケート調査の実施
- ・市民説明会の開催

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 えべつ未来づくりミーティングの開催回数（令和4年度まで）	回	0	5	26	0
活動指標 2 江別市行政審議会等の開催回数	回	0	1	18	17

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市の中長期的なまちづくりの方針を定め、市の活力や住みやすさの向上に寄与する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 第7次江別市総合計画の策定方針及び骨子の策定（令和4年度まで）	件	0	1	1	0
成果指標 2 第7次江別市総合計画の策定（令和5年度から）	件	0	0	0	1

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	5,356	6,725	5,084
正職員人件費 (B)	千円	0	5,325	5,438	13,061
総事業費 (A+B)	千円	0	10,681	12,163	18,145

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度 ・行政審議会等の開催 ・初期値取得アンケート調査の実施 ・市民説明会の開催	・行政審議会等の開催に係る経費 1,497千円 ・初期値取得アンケート調査の実施 2,168千円 ・市民説明会の開催 197千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：未来型政策検討事業

デジタル政策室（デジタル政策）

政策	99 政策の総合推進			戦略					
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策					
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	119,777	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・市内有識者や関係団体などからなる検討委員会で、デジタル技術を活用したまちづくりについての意見交換を行う。
- ・30以上の自治体に参加する「D&F活用による未来型政策協議会」に参加し、デジタル等の最先端技術などを情報共有し、本市にとって持続可能なデジタル技術の導入に向けた検討を行う。
- ・デジタル技術を活用したまちづくりについてのPR企画を実施する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 デジタル技術に関する会議やイベントの開催回数	回	0	0	10	11
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

地域課題の解決や生活利便性の向上を図るための、本市にとって持続可能なデジタル技術を活用した取組みについて検討するとともに、その必要性について、市民や関係団体等の理解を深める。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 デジタル技術に関する会議やイベントの参加人数		0	0	136	52
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	1,600	631
正職員人件費 (B)	千円	0	0	7,768	11,525
総事業費 (A+B)	千円	0	0	9,368	12,156

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事業などを検討する庁内検討会議の開催 ・市民や関係団体からなる未来型政策検討委員会（外部審議会）の開催 ・30以上の自治体からなる「D&F活用による未来型政策協議会」への参加 	未来型政策検討会議（庁内会議）の開催 35千円 未来型政策検討委員会（外部審議会）の開催 566千円 その他（消耗品等） 30千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：生涯健康プラットフォーム推進事業 デジタル政策室（デジタル政策）

政策	99 政策の総合推進			戦略				
取組の基本方針	01 政策の総合推進			具体的施策				
開始年度	令和 4年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2		補助金

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
対象指標 1 市民	人	0	0	0	119,333
対象指標 2					

手段（事務事業の内容、やり方）

群馬県前橋市が整備するデータ連携基盤を利用し、統合IDを通じて個別最適化されたサービスを提供する。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
活動指標 1 ユーザー数（累計）	人	0	0	0	15,000
活動指標 2					

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

デジタル機器やAI等の技術を活用して、市民が生涯に渡って自らの健康を管理していくことができる仕組みを構築することで、健康寿命の延伸や地域産業の活性化が図られる。

指標名	単位	2年度実績	3年度実績	4年度実績見込み	5年度予算
成果指標 1 地域生活の幸福度割合（健康状態）	%	0	0	0	80
成果指標 2					

事業費の推移	単位	2年度実績	3年度実績	4年度予算	5年度予算
事業費 (A)	千円	0	0	0	14,759
正職員人件費 (B)	千円	0	0	0	26,891
総事業費 (A+B)	千円	0	0	0	41,650

事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
5年度 ・各サービスの実装に伴う、データ連携基盤の運用。 ・生涯健康プラットフォーム実装協議会の設置に係る補助。	・データ連携基盤運用保守費用 10,000千円 ・協議会設置補助 2,000千円 ・旅費 559千円

5年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
その他	令和4年度は本事業の各サービス実装がメインであり、令和5年度については、データ連携基盤を利用した具体的なサービスを展開していく。